



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月10日

上場会社名 武蔵精密工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7220 URL <http://www.musashi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 浩史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経理統括 (氏名) 神谷 功 TEL 0532-25-8111
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	75,012	△7.9	5,008	△13.4	2,506	△47.5	1,617	△51.9
28年3月期第2四半期	81,480	5.2	5,784	9.2	4,770	△10.0	3,364	1.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △9,687百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 552百万円 (△87.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	51.84	47.32
28年3月期第2四半期	107.84	98.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	213,603	67,698	26.9	1,843.42
28年3月期	155,152	77,947	43.1	2,142.11

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 57,504百万円 28年3月期 66,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
29年3月期	—	26.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	6.4	11,000	△17.9	8,300	△27.5	5,300	△22.2	169.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	31,200,000株	28年3月期	31,200,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	5,539株	28年3月期	5,539株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	31,194,461株	28年3月期2Q	31,194,534株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更	4
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、米国では良好な雇用環境及び活発な個人消費により、景気は緩やかに回復しました。欧州においては英国のEU離脱など下振れのリスクもありましたが、総じて回復傾向で推移しました。中国・アジアでは公共投資や各国の経済政策に下支えされ、堅調に推移しましたが、輸出の減少などにより成長ペースは鈍化しました。一方で、国内では輸出の低迷、円高による企業収益の下振れから設備投資が低迷しました。加えて個人消費の回復も緩やかであり、景気は足踏み状態でありました。

このような経済環境の中、国内外での拡販活動、改善活動ならびにコストダウン、そして研究開発の強化などに取組みました。しかしながら、当期は、主として円高及び一部地域で主要製品のモデル切替えにより、前年同期比減収減益となりました。

一方では、欧州地域における事業基盤の強化、グローバル市場での更なるプレゼンス向上のため、ドイツを本社所在地とするハイホールディング・ゲーエムベーハーの株式を取得しました。本件により、当社グループはパワートレイン事業領域における商品ラインアップの拡充、技術の融合によるユニット商品開発力の向上、特に欧州における主力完成車メーカー及びサプライヤーとの強固な関係を得ることにより、更なる事業基盤の強化に向けた一歩を踏み出しました。

以上により、連結経営成績につきましては、連結売上高は75,012百万円（前年同期比7.9%減）、連結営業利益は5,008百万円（同13.4%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。なお、全てのセグメントの業績において、円高の影響を大きく受けております。

(日本)

国内需要の低迷、ならびに熊本地震の影響などにより、売上高は12,811百万円（同3.2%減）となりました。セグメント利益は、海外子会社からの資金回収スキーム拡充により、278百万円（同213.1%増）となりました。

(北米)

円高の影響により、売上高は21,223百万円（同8.6%減）、セグメント利益は1,401百万円（同18.6%減）となりました。

(欧州)

主要製品におけるモデル切替えにより、売上高は2,790百万円（同21.1%減）、セグメント利益は504百万円（同12.8%減）となりました。

(アジア)

中国は引き続き好調でありましたが、円高の影響により、売上高は34,725百万円（同3.6%減）、セグメント利益は3,249百万円（同5.2%減）となりました。

(南米)

マーケットの急激かつ大幅な縮小に対して、事業の構造改革を実施いたしましたが、減収減益となりました。売上高は3,461百万円（同36.5%減）、セグメント損失は592百万円（前年同期は306百万円の損失）となりました。

連結経常利益は、為替差損により営業外費用の増加が大きく影響し、2,506百万円（前年同期比47.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,617百万円（同51.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べて58,451百万円増加し、213,603百万円となりました。主として、ハイホールディング・ゲーエムベーハーの買収によるものであります。

流動資産は、前期末に比べて16,937百万円増加し、75,737百万円となりました。

固定資産は、前期末に比べて41,514百万円増加し、137,866百万円となりました。

負債は、前期末に比べて68,700百万円増加し、145,905百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は、為替換算調整勘定の減少等により、前期末に比べて10,249百万円減少し、67,698百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は12,501百万円となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益2,513百万円、減価償却費5,612百万円の計上等です。主なマイナス要因は、売上債権の増加1,879百万円等です。

投資活動の結果使用した資金は33,288百万円となりました。主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出28,115百万円等です。

財務活動の結果調達した資金は24,106百万円となりました。主な要因は、借入金の増加24,982百万円等です。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は16,321百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期における経済情勢は、米国における政治情勢や利上げの影響、欧州における英国のEU離脱による景気の下振れリスク、タイの国王崩御による経済低迷、そして円高の加速などの不安要素はあるものの、総じて各地域ともに緩やかに景気は回復する見込みです。当社グループは、引き続き各地域・各国の拠点において、業績向上のための各施策を実施・強化してまいります。

その中でも、買収したハイホールディング・ゲーエムベーハーとの事業統合においては、平成28年6月末の買収日以降、約3か月間（約100日間）でPMI（※1）計画を策定いたしました。そして、営業・調達・生産など、6事業分野での事業統合推進に着手いたしました。今後、計画通りに着実に実施することで、最大かつ最速でのシナジー効果を実現してまいります。

なお、平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年8月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、主要通貨の下期想定為替レートは、100円/US\$、110円/ユーロ、2.8円/バーツです。

※1 ; Post Merger Integration M&A成立後の統合プロセスのこと。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、武蔵精密汽车零部件（南通）有限公司、武蔵精密企業投資（中山）有限公司及びムサシホールディングヨーロッパ・ゲーエムベーハーは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、新たに株式を取得したハイホールディング・ゲーエムベーハー及びその子会社15社を連結の範囲に含めております。

(2) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、決算日が12月31日であった連結子会社ムサシオートパーツカナダ・インコーポレーテッドは、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。また、決算日が1月31日であったムサシオートパーツミシガン・インコーポレーテッドは、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

なお、ムサシオートパーツカナダ・インコーポレーテッドの平成28年1月1日から平成28年3月31日まで、ムサシオートパーツミシガン・インコーポレーテッドの平成28年2月1日から平成28年3月31日までの損益については、それぞれ利益剰余金で調整しております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用について、当社及び国内連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,059	14,700
受取手形及び売掛金	16,851	20,043
商品及び製品	3,966	7,382
仕掛品	3,574	5,389
原材料及び貯蔵品	14,171	16,606
繰延税金資産	1,294	1,288
その他	5,948	10,367
貸倒引当金	△66	△41
流動資産合計	58,800	75,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,843	38,455
減価償却累計額	△16,622	△16,372
減損損失累計額	△806	△841
建物及び構築物 (純額)	16,414	21,241
機械装置及び運搬具	178,357	179,954
減価償却累計額	△123,616	△115,804
減損損失累計額	△1,008	△1,034
機械装置及び運搬具 (純額)	53,732	63,115
工具、器具及び備品	7,900	9,415
減価償却累計額	△6,243	△6,020
減損損失累計額	△44	△45
工具、器具及び備品 (純額)	1,611	3,350
土地	5,045	5,880
建設仮勘定	4,761	6,076
有形固定資産合計	81,565	99,663
無形固定資産		
のれん	—	8,558
ソフトウェア	1,226	1,593
ソフトウェア仮勘定	542	232
その他	11	17,248
無形固定資産合計	1,780	27,633
投資その他の資産		
投資有価証券	5,443	5,189
出資金	2,062	66
長期貸付金	47	44
繰延税金資産	3,014	2,568
その他	2,490	2,751
貸倒引当金	△51	△50
投資その他の資産合計	13,006	10,569
固定資産合計	96,352	137,866
資産合計	155,152	213,603

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,122	18,499
短期借入金	17,188	58,587
1年内返済予定の長期借入金	3,368	9,617
未払金	3,206	4,881
未払費用	4,811	5,377
未払法人税等	745	685
賞与引当金	1,729	1,984
役員賞与引当金	51	36
製品補償引当金	22	31
その他	1,783	3,016
流動負債合計	44,029	102,718
固定負債		
社債	10,026	10,021
長期借入金	18,472	19,852
繰延税金負債	1,620	6,233
退職給付に係る負債	2,284	4,963
その他	770	2,115
固定負債合計	33,175	43,187
負債合計	77,204	145,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,973	2,973
資本剰余金	2,714	2,714
利益剰余金	66,103	67,225
自己株式	△7	△7
株主資本合計	71,783	72,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,160	1,960
為替換算調整勘定	△6,485	△16,782
退職給付に係る調整累計額	△637	△579
その他の包括利益累計額合計	△4,961	△15,402
非支配株主持分	11,125	10,193
純資産合計	77,947	67,698
負債純資産合計	155,152	213,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	81,480	75,012
売上原価	68,592	62,612
売上総利益	12,888	12,399
販売費及び一般管理費	7,103	7,391
営業利益	5,784	5,008
営業外収益		
受取利息	68	73
受取配当金	72	86
助成金収入	—	259
その他	99	107
営業外収益合計	241	527
営業外費用		
支払利息	507	487
固定資産除却損	30	6
為替差損	567	2,497
その他	150	37
営業外費用合計	1,255	3,028
経常利益	4,770	2,506
特別利益		
固定資産売却益	86	30
特別利益合計	86	30
特別損失		
固定資産売却損	23	8
固定資産除却損	9	7
減損損失	—	6
特別損失合計	32	22
税金等調整前四半期純利益	4,824	2,513
法人税等	787	593
四半期純利益	4,037	1,920
非支配株主に帰属する四半期純利益	673	302
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,364	1,617

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	4,037	1,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△324	△200
為替換算調整勘定	△3,256	△11,468
退職給付に係る調整額	95	60
その他の包括利益合計	△3,484	△11,607
四半期包括利益	552	△9,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	320	△8,822
非支配株主に係る四半期包括利益	231	△864

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,824	2,513
減価償却費	6,273	5,612
減損損失	—	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△35
賞与引当金の増減額 (△は減少)	453	286
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	△11
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	△119	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△469	△46
受取利息及び受取配当金	△141	△160
支払利息	507	487
為替差損益 (△は益)	191	2,239
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△23	△7
売上債権の増減額 (△は増加)	78	△1,879
たな卸資産の増減額 (△は増加)	421	401
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,145	3,301
その他	1,568	1,379
小計	12,385	14,087
利息及び配当金の受取額	137	155
利息の支払額	△527	△495
法人税等の支払額	△1,023	△1,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,972	12,501
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,411	△4,908
有形固定資産の売却による収入	126	101
無形固定資産の取得による支出	△351	△285
投資有価証券の取得による支出	△28	△28
貸付けによる支出	△55	△44
貸付金の回収による収入	33	38
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△28,115
子会社出資金の取得による支出	△969	—
その他	△35	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,691	△33,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	16,982
長期借入れによる収入	1,386	10,002
長期借入金の返済による支出	△2,887	△2,001
配当金の支払額	△748	△779
非支配株主への配当金の支払額	△278	△71
その他	△16	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,544	24,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	△412	△1,883
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	322	1,437
現金及び現金同等物の期首残高	10,126	14,253
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	161	701
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物 の増減額 (△は減少)	—	△70
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,610	16,321

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米 (注) 3	欧州	アジア	南米	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	13,241	23,225	3,536	36,027	5,449	81,480	—	81,480
セグメント間の内部売 上高又は振替高	8,598	24	0	2,815	5	11,445	△11,445	—
計	21,840	23,250	3,536	38,842	5,455	92,926	△11,445	81,480
セグメント利益又は損失 (△)	88	1,722	578	3,427	△306	5,511	272	5,784

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額272百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めましたムサシオートパーツメキシコ・エス・
エー・デ・シー・ブイは、「北米」に含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	北米	欧州	アジア (注) 3	南米	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	12,811	21,223	2,790	34,725	3,461	75,012	—	75,012
セグメント間の内部売 上高又は振替高	10,708	201	1	2,258	4	13,174	△13,174	—
計	23,520	21,425	2,791	36,984	3,465	88,187	△13,174	75,012
セグメント利益又は損失 (△)	278	1,401	504	3,249	△592	4,841	166	5,008

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額166百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めました武蔵精密自動車部品（南通）有限公司及び武蔵精密企業投資（中山）有限公司は、「アジア」に含めております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、ハイホールディング・ゲーエムベーハーの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度末に比べ、当第2四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は、「欧州」セグメントにおいて、70,947百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれん金額の重要な変動）

第1四半期連結会計期間に「欧州」セグメントにおいて、ハイホールディング・ゲーエムベーハーの全株式を取得し、同社を連結子会社としました。当該事象によるのれんの増加額は当第2四半期連結会計期間末日において8,558百万円であります。